

科目名	看護教育論			分野・必選別・ 単位数	共通科目	選択	2単位
担当教員	◎准教授 砂見緩子						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	この講義では、看護教育の本質について考察することを目的とする。 講義および学生自身のプレゼンテーション内容に基づいてディスカッションをし、学修を深める。 なお、講義内容およびスケジュールは、学生の希望と内容の進捗度により適宜修正する。						
授業の到達目標	現代における看護教育の概念、看護教育の原理や特徴などについて概説できる。 わが国の看護教育制度および看護教育課程の歴史の変遷を振り返ることにより、看護教育の現状や課題について考察し説明することができる。 看護教育に関する問題を提起し、その問題に関連した文献精読と討議を通して、問題の現象の理解を深め説明することができる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	砂見 緩子	准教授	看護教育論概説 講義の進め方・方法・評価について説明できる。			
	2	砂見 緩子	准教授	看護教育の概念① 「教える」「学ぶ」ことの意義、看護教育学に関連する用語の定義について説明できる。			
	3	砂見 緩子	准教授	看護教育制度の変遷① 過去から現在に至る看護基礎教育課程の特色と課題を概説できる。			
	4	砂見 緩子	准教授	看護教育制度の変遷② 過去から現在に至る看護継続教育の特色と課題を概説できる。			
	5	砂見 緩子	准教授	看護教育制度の変遷③ 一般教育と看護教育の相違からみた看護教育制度の特色と課題を概説できる。			
	6	砂見 緩子	准教授	看護教育制度の変遷④ 日本と諸外国の相違からみた看護教育制度の特色と課題を概説できる。			
	7	砂見 緩子	准教授	看護教育の原理① カリキュラムの定義と意義、看護基礎教育課程のカリキュラム開発の基本原則について説明できる。			
	8	砂見 緩子	准教授	看護教育の原理② 授業設計、授業方法、授業評価に関する諸理論について概説できる。			
	9	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究① 看護基礎教育課程におけるカリキュラム開発における今日的課題について考察し説明することができる。			
	10	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究② 看護専門職の専門性の発展に求められる今日的課題について考察し説明することができる。			
	11	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究③ 看護教育に関する問題(テーマ)を提起することができる。			
	12	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究④ テーマに関連した研究論文を中心とした文献精読と討議を通して、問題の現象の理解を深め説明することができる。			
	13	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究⑤ テーマに関連した研究論文を中心とした文献精読と討議を通して、問題の現象の理解を深め説明することができる。			
	14	砂見 緩子	准教授	看護教育学研究⑥ テーマに関連した研究論文を中心とした文献精読と討議を通して、問題の現象の理解を深め説明することができる。			
15	砂見 緩子	准教授	まとめ 講義を振り返り、習熟度を確認し、その評価を述べることができる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	授業内容に関連した疑問、課題等を説明できるように準備しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要となる。					
教科書	特に指定しない。講義の中で適時提示する。						
参考書	関連文献は随時提示する。						
成績評価の方法および基準	プレゼンテーションの準備と実際60%、レポート40%で評価する。 なお、プレゼンテーションおよびレポートの作成・提出要領は講義の中で説明する。						
その他履修上の注意事項	プレゼンテーションやレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1およびDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						